

# 災害時の正確な状況の把握をどうする

## 町長 自主防災組織を念頭に



関千鶴子議員

に基づく連絡調整をはかる必要がある。

### 総務課長

各地区自主防災組織内部での

状況把握や情報の一元化が課題である。マンパワー・世帯構成の状況などはそれぞれ異なるが、訓練と検証を重ねて地域に合ったものをつくりあげるほかない。

### 各課の連携は

### 関

町民からの相談に際して、「たらい回し」

があったと聞いた。総合的な窓口と各課の連携が必要だと思いがどうか。

### 総務課長

情報に基づいて現場に行く職員、

通常の業務を行う職員、災害対策本部に詰める職員とさまざまであった。災害対策本部の一元化という組織体制づくりが必要だと思う。「たらい回し」のないように情報の受け手としての訓練を行う。

### 町長

町民から多数寄せられる情報に一元的に対応するには難しさがある。自主

防災組織を念頭に、冷静な判断

### 避難勧告等の発令基準は

### 関

町の避難勧告・避難指示の発令基準を問

う。

### 総務課長

地域防災計画に明示している

が、今回のような集中豪雨に対する避難勧告・指示や自主避難、避難準備についての具体的な基準は設けていない。

### 自主防災組織の対応は

### 関

自主防災組織の対応範囲について検討が必

要では。

### 総務課長

災害の初動体制、応急体制に

おける自主防災組織と消防団の動きは本来違うものだと思うが、今回はそのあたりが混乱した。消防団の活動と備え、自主防災組織の緊急対応・復旧対応についての連携に関する実態的な検証を行いたい。

### ボランティアセンター設置の経過は

### 関

白鷹町災害ボランティアセンター設置の経

過と体制は。

### 町長

地域防災計画に基づき、町災害対策本部会議で設置を決定し、各地区のニーズの把握とボランティアの受け入れなどの準備に着手した。災害ボランティアセンターは、社会福祉協議会が設置、運営することになっている。健康福祉センター内に本部を設置し、県や近隣の社会福祉協議会職員、町職員が運営に従事した。



防災消火訓練